

学校法人 鶴岡学園 北海道文教大学

北海道文教大学大学院 北海道文教大学附属幼稚園
北海道文教大学明清高等学校



北海道文教大学入学式

北

北海道文教大学
2013年度（平成
25年）入学式が4月6
日（土）、恵庭キャンパ

ス本学体育館にて行われた。今年度は外国語学部国際言語学科97名、人間科学部健康栄養学科165名、同理学療法学科95名、同作業療法学科48名、同看護学科88名、同こども発達学科104名、計597名、外国語学部国際言語学科3年次編入17名、学部学生計614名、大学院グローバルコミュニケーション課程2名、合わせて616名の新生を迎えて執り行われた。入学生一人ひとりの氏名を読み上げ入学許可を行った後、鈴木武夫学長より次の様な告辞がありました。

「本学は平成11年の開学から14年目にさしかかり、第二期の充実発展期ともいべき時期に入っております。この時期の教育目標を、「①科学的研究に基づく実学の追究、②充実した教養教育の確立、③未来に生きる国際性の涵養、④地域社会との連携と貢献」の4項目と位置づけております。

『実学の追究』と『教養教育の充実』は研究と教育においてこれを推進する車の両輪であります。本学の歴史的社会的使命は、社会に対して具体的に貢献する有能な人材を育成する実学の追究であります。それはまた同時に、関連する諸科学の真摯な研究を通じて、豊かな教養に根ざした高い見識と的確な判断力を備えた誠実

な人材の育成でもあります。

『国際性の涵養』と『地域社会との連携』もまた、開かれた大学のあり方を推進する車の両輪であるといえます。皆さんはすでに、街角にあっても中国語や英語が飛び交う市民レベルの国際化が日常になっっている状況に囲まれています。また、新しい大学像は地域の連携と地域への貢献によってこそ、未来への大きな可能性をもって達成されるものであると考えます。

新しく本学のメンバーとなられた皆さんにとって、本学が「実学」「教養」「国際」「地域」という、4つのキーワードに彩られた、豊かな未来を切り拓き未来に挑戦し続けるステージであることを、これから願うものであります。」

原田裕恵庭市長からは「新入生の皆さんも我がまちの一員として、色々なご意見やご提案をしていただければ幸いです。」と歓迎の祝辞を頂きました。入学生を代表して人間科学部作業療法学科 中井理帆さんが入学生宣誓を行い、式典は多数の保護者の見守る中、厳粛なうちに無事終了しました。新入生の皆さんが



緑豊かな本学キャンパスで、よき師、よき友と出会い、たくましく成長されることを期待しています。

新入生歓迎会

本

年4月に入学した新入生597名を対象とし、「新入生同士や新入生と在校生が交流すること」で、スムーズに大学生活に溶け込み、今後の学校生活と共に楽しく送るための仲間作りのきっかけの場を作ることが目的とした歓迎会にする」をコンセプトに開催し、300人を超える新入生が参加しました。例年、学友会が年度最初の学友会行事として前年度から時間をかけて企画・立案しており、今年度は委員長の佐藤宏樹さん（国際言語学科2年）が中心となって、準備を進めてきました。

当日は、新入生同士のグループ、新入生と先輩たちのグループなどグループを作りゲームに参加する企画を多く用意しました。新入生は趣向をこらしたゲームに参加



グループを作りゲームに参加する企画を多く用意しました。新入生は趣向をこらしたゲームに参加



することで新入生が、仲良くなるまた先輩と触れ合うきっかけ作りをすることができたのではないのでしょうか。他にもサークル紹介、豪華賞品が用意された抽選会など、様々な企画が催されていました。サークル紹介では多くの団体が参加し、新入生は各団体のパフォーマンスを熱心に観ていました。今年も一番盛り上がりを見せたのが抽選会で、賞品が当たった新入生は大きな歓声をあげ、心から嬉しそうな表情をしていました。食事は立食形式となっていましたので、ゲームに参加しながら、たくさんの料理、ケーキ等のデザートを楽しんでいました。

今回の新入生歓迎会に参加することで新入生だけでなく在校生とも楽しく交流することができました。



今回の新入生歓迎会に参加することで新入生だけでなく在校生とも楽しく交流することができました。

黄金フラワーロードの植栽事業

毎

年の恒例行事となった感のある恵庭市花いっぱい文化協会からの依頼である黄金フラワーロードの植栽事業を、今年も、5月29日に学友会が中心となって行いました。



当日は、天候にも恵まれ、昨年を大幅に上回る260名以上の学生さんや先生方が参加し、2時間足らずで、マリーゴールドや緑葉ペゴニアなど約2000株を200メートルに渡って3列に植栽しました。本学構内の樹木や目に鮮やかな芝生、大学に隣接した黄金フラワーロードに大勢の学生や先生方が協力して植えた色とりどりの花々な

ど、大学周辺は今が一番美しい季節を迎え、通学する学生、通行する地域の方々の目を楽しませています。



体育祭

「ス」

ポーツをすることにより、学年の垣根を越えて学生同士が交流する」を目的に5月25日学友会の主催による体育祭が本学体育館で行われ、200名を超える学生が集まりました。

午前は、大運動会ということで、大玉転がし、綱引き、玉入れ、運命走が実施され、午後からはドッジボールとバレーボールが行われました。学生たちは、この日のために友達同士でチームを作って練習に取り組み、どの競技も、白熱した対戦が繰り広げられていました。また、珍プレー・好プレー等の活躍に対しても、大きな歓声と拍手が巻き起り、学生同士が試合を盛り上げ、正に熱い一日となりました。



こうして、今年の体育祭も、全プログラム滞りなく終了しました。競技を通じて学年学科を超えての親睦が図れたと共に、仲間との団結がより一層深まったのではないかと思います。

充実な毎日！ 台湾留学生活

昨年9月から台湾の静宜大学に留学している国際言語学科3年の高野です。残りわずかになった留学生活ですが、相変わらず毎日元気に過ごしています！平日は朝10時から大学が始まります。途中1時間のお昼休みを挟んで15時まで中国語漬けの日です。来た当初は、会話のたびに翻訳サイトに頼って一苦労する…という日々でしたが、今では何にも頼らず友人と笑い話ができるまでになりました！授業のクラスも、上級レベルに出れるようになりました。日本にいるときは中国語検定4級を受けてみようかな、というレベルでしたが、いまでは2級を目指し頑張っています！帰国するまでもっととネイティブに近づけるように頑張ります！

放課後や休みの日も、充実しています。僕は大学の野球チームに所属



しているのですが、見事予選を勝ち抜き台湾の本選大会に出ました！（なんと！大学として19年ぶりの本選出場）。また昨年末に行



われた校内マラソン大会では、参加者1500人中で7位になりました！得意のスポーツを通じてもたくさんの方ができ、部活や趣味のバスケット、ランニングなどをして放課後も積極的に活動しています。留学生向けのイベントもたくさん行われ、仮装大会や、クリスマスパーティ、一足先に戻る留学生のお別れパーティなど友人たちと一緒に参加しました。休日は旅行に行ったりして台湾観光もしっかりと満喫しています。台湾は気候もあたたかく、とても過ごしやすいいところですよ。コンビニやスーパーもあり、日本とあまり変わらない生活を送ることができています。

僕は留学するまでは、卒業後について全く決めることができませんでしたが、しかし、留学して台湾と日本のつながりに感動する場面が多くあり、卒業後は中国語を使った職業について台湾ともしっかりと関わりを持ちたいと考えています。そのためにも、残りの留学期間を大切に使い、今以上に成長して日本に戻りたいと思います。

国際言語学科 3年 高野 将紘

就職力宣言。

二〇一三年三月卒業生の 就職活動と動向

北海道内における今年度春卒業大学生の三月末現在就職内定率は、前年同期比二・一ポイント増の八八・二%、一九九四年以降三番目の高さとなりました。リーマンショック後の不景気から回復し、企業がこれまで控えていた新規採用を再開したのが一因と思われます。本学の対応は学生意識と共有する厳しい社会情勢・採用環境にあるとの認識からスタートし、最後まで一人ひとりの学生動向把握と複数の面談及び学生個人の特徴を生かした指導により高い就職決定率を維持することが出来ました。

学生の安定志向が強まる傾向から、当初大手事業所、有名・有力企業に集中して応募する傾向が見られました。が、就職活動中盤以降は合同企業説明会・企業セミナー・個人面接の経験等により学生自身厳しい就職活動に直面し、社会の荒波を肌で感じるのと同時に社会に出て働く事の重要性を認識することになりました。

それぞれの学科の就職活動や就職課の取り組みをお知らせします。

外国語学部

外国語学部の特徴として応募企業

の業種・職種は幅広く選択できる反面、学生自身の応募先決定については個人の希望、意向やこだわりがあり、就職活動開始時期のばらつきが見られました。

平成二十四年度については、夏頃迄は昨年を上回る内定推移でしたが、北海道企業の求人本格開始と地元就職希望の学生応募者が集中し例年同様厳しい就職活動と内定獲得競争突入となりました。

就職課としては求人募集が本格化した合同企業説明会会場にきめ細かに参加して、学生個別相談による一人一人へのアドバイスを実施。履歴書及びエントリーシート添削、面接対策、自己分析・企業分析、最新求人情報提示など広範囲且つ多様な対策を実施しました。

年末からの就職未内定者対策は例年悩ましい課題です。学生の心の変化と悩みに沿いながら、今までの反省やふり返りと同時に具体的な応募企業対策を個別に実施。

年明け以降から年度末までは、企業最終求人への応募支援を行うことにより結果として昨年以上の実績を残す事が出来ました。

健康栄養学科

一般職新卒者の求人状況はやや拡

大の兆しがあり、業種・業態の新しい就業先展開が見られました。専門職新卒者の求人は病院・施設等にて栄養士職の退職者減少が続く、特に都心部では求人が出づらいう状況にありました。

学生の就職活動姿勢の傾向として専門職のみならず、栄養学に関わる学びを生かし食に関わる業務等を軸として一般企業に果敢に挑戦すると同時に、自分の方向性変更など就業する為の現実的な対応・見極めが早くなり、早期に内定を得ようとする意識が強く見られました。採用になかなかたどり着けない状況であっても諦めずに応募し続ける姿勢があり、実習・国家試験の勉強など取り組むことが多い中、就職活動に向かっています。

就職課の取り組みは三年生早期から個別に学生との面談を繰り返して、応募先とのマッチングに配慮すると同時に個別相談の継続により、就業することの意識強化と正職としての目標が明確となり、学生の就職活動意識を継続的に高めました。

学科全体としては例年に匹敵する結果となりましたが、この経験を礎に次年度はさらなる支援活動に努めて参ります。

看護学科

看護学科二期生七三名の就職活動は、二回に亘る就職講座（三月・四月）でスタートしました。既に三年次から

病院見学やインターンシップに参加する等、積極的に情報収集を行う学生も現れ、一期生同様に年内の早い段階での「全員内定」が期待されました。看護師求人市場は依然として売り手市場が続いてはおりますが、一部の医療機関に学生の応募が集中する傾向が見られるため、出来るだけ早い段階での第一志望先の内定を目指し、実習の合間に病院見学や採用試験対策に時間を割く等、厳しい日程の中、懸命に就職活動に取り組む学生の姿が見受けられました。

就職課では全体講座で「実習を見据えた就活マナー」と「小論文対策」を中心に指導を行い、個別指導では履歴書添削と徹底した面接練習で採用選考に備えました。取り組みの結果、十一月末にはほぼ全員の内定が決まり、全体の八割の学生が公立の総合病院を中心とした道内病院に、また残りの二割の学生は大学病院など関東地区の病院に就職しました。

道内の主要病院は勿論の事、関東地区の大学病院等でも本学卒業生が活躍してくれるものと思います。

理学療法学科

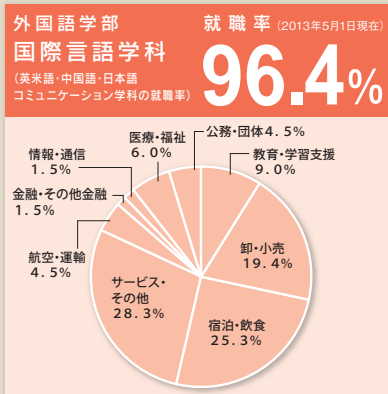
作業療法学科

理学療法学科と作業療法学科の学生は四年次の施設実習を終えてから実質的な就職活動に取り組みました。八月二十四日には実習先や採用実績のある病院を中心に59箇所の施設を招いて「PT・OT合同就職説明会」

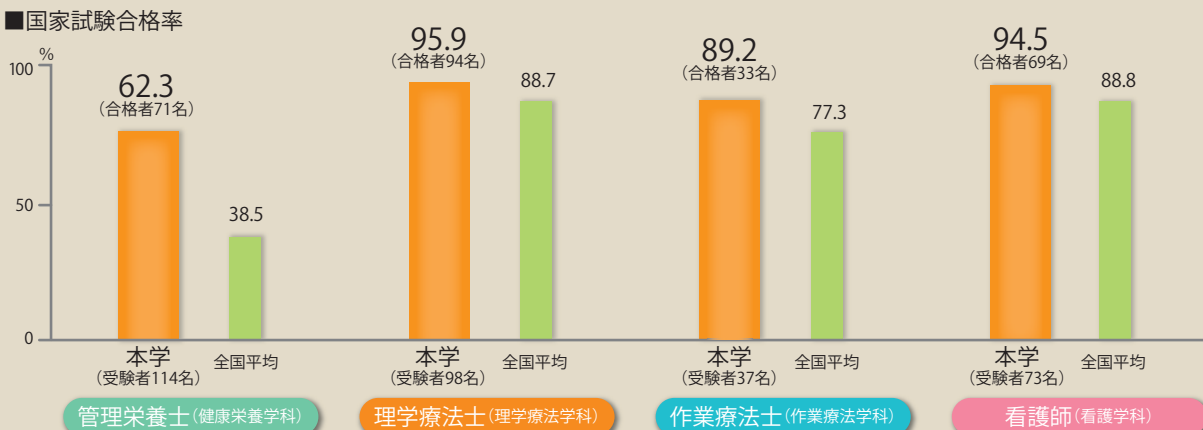
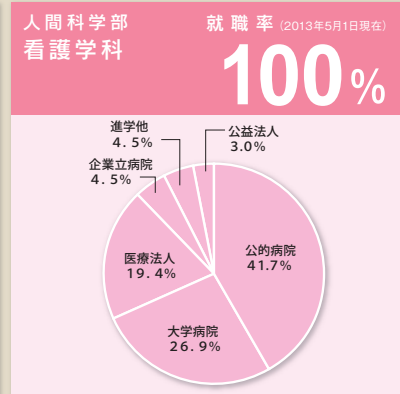
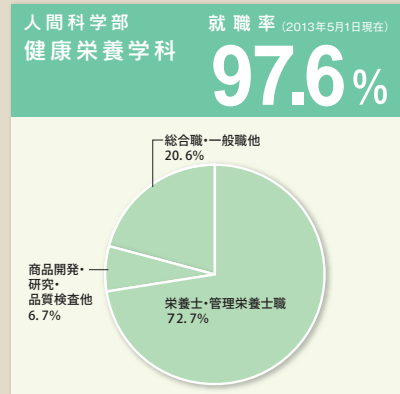


を開催致しました。例年約半数近くの学生が当該就職説明会参加施設に就職していることもあり、希望領域での就職を目指し真剣な表情で各施設の説明に聞き入る姿が見られました。また作業療法士に比べ理学療法士の求人市場は年々厳しさを増し、採用選考では不合格となるケースも散見されるため、年度初めの就職講座(三月六、七日)に加えて選考試験対策として新たに「小論文対策」講座を実施しました(十一月)。

一部の学生については、実習日程の都合から就職活動の開始時期が遅くなることが予想されましたが、就職課では常に両学科と連携して個別の進捗状況を把握して履歴書・小論文の添削や面接練習等の個別指導を強化して選考試験に備えました。内定状況は前年よりやや低めに推移しましたが、最終的には希望者全員の内定を勝ち取ることが出来ました。



2013 北海道文教大学
就職データ
本学全体で
就職率圧倒の
98.7%!!



授業：模擬カンファレンス

3年前期 身体作業療法治療学実習1（科目担当：坪田貞子教授）で作業療法学科の教員がリハビリテーション医療専門職となって模擬的にカンファレンスを行ない、この様子を学生に体験してもらう授業で、今回は初めての試みです。

この学習の目的はチーム医療に参加する医療職の役割を理解し、チームメンバーとしての作業療法士の果たす役割を、カンファレンスを通じて理解を深めることにあります。基本的な身体障害治療学・評価学を学んだ後に、4年次に総合臨床実習を控えて、患者様の入院、評価から治療、退院時までの決定過程を学ぶうえで有意義な体験になったようです。この学習のあとでグループ毎に症例検討、症例レポート完成し、最終回にはグループ毎にプレゼンを行い、教員、学生が相互に学習の振り返りを行なって終了します。取り上げられた症例は、臨床実習中にしばしば経験する脳血管傷害など8症例です。模擬的ではありますが、他のグループのプレゼンを聴く事で、学生にとって8症例の経験知になってくれればと願っています。模擬医療職となった教員は学生にとって身近な存在で、学習の動機づけにもなり、ユーモアあり、和気あいあいとした中にも真剣に学ぶとする学生の姿が印象的でした。 文責 坪田貞子



「チャレンジド教室でボランティア精神と創造性を培う」

チャレンジド教室は、学生が自らの心を拓き、耕すため、自らの意思で、地域の障がいのある子どもたちに関わるボランティア活動で、毎週、金曜日に実施しています。



平成25年度は、全学年、約80名が参加しています。活動プログラムは、外遊びやお絵描きゲーム、絵本の読み聞かせなど、新たに開発したり、既存の活動に変化を与えるなどして、参加した子どもたちが楽しめるよう工夫しています。

先日は、拡大絵本「はらぺこあおむし」の読み聞かせを行いました。子どもたちにこの臨場感を味わわせるため、青虫が蝶に変身する映像とともに、新たに創った「はらぺこあおむし」のフィギュア（写真の場面）を用いた演技もしました。

本学科では、チャレンジド教室を社会貢献できる人材育成のための大事な活動と位置付け、今後も、より一層、学生の自主的かつ創造的な活動になるよう見守っていきたいと思っています。

臨地実習担当者会議開催

8月から9月に実施する、3年生の給食経営管理論、4年生の臨床栄養学と公衆栄養学の臨地実習の指導担当者会議を6月15日（土）に開催しました。

実習施設である、特定給食施設や、病院、高齢者施設、保健所等の管理栄養士の先生方と大学教員とで、事前準備、実習内容、評価などに関する打ち合わせや情報交換をおこなうために年1回開催しています。会議では、本学の歴史やカリキュラム等の説明と実習施設の見学を設定し、教育方針などをご理解いただき学生指導の参考にしていただいています。



また、今回は本学科の板垣康治教授の「食物アレルギー」講演を会議に合わせて開催いたしました。出席された管理栄養士の先生方より、「今回の講演でアレルギーについて詳しく聞くことができ、このような機会はあまりないので勉強になった。」「患者さんでアレルギーの方がいるので、詳しく聞けてよかった。」などの感想をいただきました。

2013年度新入生歓迎会 今年も楽しかった！

2013年度新入生歓迎会が学生食堂で6月26日(水)午後4時半から行われました。新入生と先輩たちが和気 I・アイ・♡と美味しい食べ物とゲームなどで楽しい時間を過ごし、友達を作る良い機会にもなりました。ハイライトは本学科2年生の 飯嶋 自明 さんによる津軽三味線演奏で日本文化の真髄を魅せてくれました。 サミダ D. K.



Welcome party, we enjoyed so much!

A welcome party for the new students of 2013 was held on 26 June 2013 from 4:30 pm at the university cafeteria. It gave - both freshmen and senior students - a chance to have fun and to make new friends. The highlight of the party was the Tsugaru-shamisen performance by a sophomore Yoriaki Iijima. He gave a taste of traditional Japanese culture. Deepak K. Samida

1・2年生交流会開催！

新学期もそろそろ日常となってきた6月20日、学生食堂にて2年生の企画による1年生との交流会が開催されました。目玉は理学療法学科の先生方から集めたいろいろな賞品をかけたビンゴゲーム。大物、小物、おいしいもの、勉強もの・・・と様々な賞品が勝者には渡ったわけですが、さて、結局のところ今年は何が大当たりだったのでしょうか？

なにはともあれ、お料理もおなかいっぱい食べ、おしゃべりに花を咲かせた2時間でした。



小児看護学援助論演習 「プレパレーション」



3年生の小児看護学援助論の演習で、プレパレーションを行いました。プレパレーションとは、子どもがこれから体験することによってもたらされる不安や恐怖といった心理的混乱に対して、子どもに納得できるような方法で説明を行ない「がんばろ〜」と、覚悟や心構えなどができるようにすることです。

演習は「4歳で扁桃腺の手術を受ける患児」の事例から考えました。3年生の皆さんは、幼児期の患児に理解してもらい難しさを感じながらも、患児の好きなドラえもんやウルトラマンを登場させた絵本や紙芝居を作ったり、患児が疑似体験できる本物の麻酔用マスクや注射器なども活用したり、素晴らしい発表でした。さすが、文教、看護の学生です。



写真は、学生が患児役と看護師役になり、手術や採血のプレパレーションを行っている場面と、学生が作成したプレパレーショングッズの一例です。なかなかの力作揃い！後期から始まる実習頑張るゾ〜！という意気込みが伝わりました。

女子サッカー部新体制でスタートしました。

創部30周年を迎えた女子サッカー部は、創部から道内屈指の強豪に築き上げてきた高崎裕治前監督が勇退され、コーチだった清野監督にバトンが引き継がれました。



清野監督は、平成10年日本サッカー協会の推薦でメキシコに渡り1年指導者留学の経験を持つ新進気鋭の監督です。

また、女子サッカー部には9名の新入生が入り、中には、なでしこチャレンジU-15に選出された選手やノルディーア北海道で活躍していた選手も入部しました。これからの活躍に期待が持てます。

6月現在、北海道女子サッカーリーグ戦では、首位（全勝）で折り返しました。これからも応援よろしくお祈りします。

NEWS ■ 附属幼稚園

家族そろって、十五島公園へ徒歩遠足！ 帰り道での子どもたちの健脚にびっくり！

6月16日日曜日（父の日）に、附属幼稚園の親子遠足が行われました。天候に恵まれて、家族そろって十五島公園でひと時を楽しく過ごすことができました。

例年、当園では円山動物園等へのバス遠足を行っていました。これをリニューアルして、親子で山登りをしていても楽しいのではとのアイディアから、当初は、円山八十八か所を登る親子遠足を予定していたのですが、当日は北海道神宮祭のため計画を変更しての「園からの徒歩遠足」でした。この登山という案も、昨年来、父の日に行われていた「日曜参観」にお父さんと一緒に園の裏山である小島の村への山歩きを企画していたことからの発想でもありました。自然に囲まれた当園の環境を生かした保育をとの考えが発端にあったものです。



少し暑いぐらいの天候ではありましたが、親子で、また子ども同士で手をつなぎ、クラス毎に列をなして歩くことも子どもたちは楽しそう。「すぐ車に乗ってしまうので・・・。」と大人の方が、少し辛そう！十五島公園では、クラス毎で車座になり自己紹介やゲームで交流をはかりました。川の水がダムからの放流で勢よく流れており、流れが巻き上げる涼風が心地よく広場に流れ込んできていました。

帰りには、急坂があるため少々心配していたのですが、どの子ども何事もないかのように園を目指しており、園舎近辺になると走り出した子が多いほどでした。「お母さん・お父さんに、『ここからは自分たちのテリトリーだ』と誇示しているようだ」とはある保護者の方のことばです。父母と共にいることで、甘えが出て当然でもある場面ですが、しっかりと自分たちの生活を育んでいる姿ととらえて喜びたいと思います。また、一昨年来取り組んでいる「ランニング」が、体力の向上と共に多様な影響を与えてくれているのかもしれない。これからも様々な可能性に挑戦する幼稚園でありたいものです。

7月21日日曜日 6時間リレーマラソンin札幌ドーム2013 42.195マラソンの部に参加！

附属幼稚園教員、保護者、北海道文教大学教員有志 10名



2014年度(平成26年度)入試日程

【北海道文教大学】

入試区分	出願期間	試験日	合格発表
推薦入試	一般	10/22(火)～11/5(火)	11/9(土) 11/14(木)
自己推薦入試 (国際言語学科 健康栄養学科)	前期	10/28(月)～11/11(月)	11/13(水) 11/15(金)
	後期	11/21(木)～12/9(月)	12/11(水) 12/13(金)
一般入試	I 期	1/10(金)～1/28(火)	2/1(土) 2/8(土)
	II 期	2/12(水)～2/26(水)	3/3(月) 3/8(土)
	III 期 (国際言語学科 こども発達学科)	3/3(月)～3/17(月)	3/20(木) 3/21(金)
成績特待生入試	A 日程	10/22(火)～11/5(火)	11/9(土) 11/14(木)
	B 日程	1/6(月)～1/29(水)	2/14(金)
	C 日程	2/12(水)～2/26(水)	3/8(土)
大学入試センター 利用入試	前期	1/6(月)～1/29(水)	2/14(金)
	後期	2/12(水)～2/26(水)	3/8(土)

入試区分	出願期間	試験日	合格発表
特別入試 (社会人 外国人留学生 帰国生等)	前期	11/21(木)～12/9(月)	12/11(水) 12/13(金)
	後期	1/27(月)～2/7(金)	2/12(水) 2/14(金)
編入学 (国際言語学科)	前期	11/21(木)～12/9(月)	12/11(水) 12/13(金)
	後期	1/27(月)～2/7(金)	2/12(水) 2/14(金)
A0入試 (国際言語学科 こども発達学科)	エントリー期間	[国際言語学科] 8/29(木)～10/31(木) [こども発達学科] 10/3(木)～10/31(木)	
	出願期間	10/22(火)～11/22(金)の指定期間	

【大学院】

入試区分	出願期間	試験日	合格発表
〔一般選抜〕 〔社会人選抜〕 〔外国人留学生選抜〕	前期	10/21(月)～11/4(月)	11/6(水) 11/9(土)
	後期	1/31(金)～2/14(金)	2/18(火) 2/20(木)

学

校法人鶴岡学園は創立70周年を経たが、北海道文教大学が4年制大学として産声をあげたのは1999年(平成11年)の事であり、大学開設後15年の月日を重ねたに過ぎない。その間、社会や大学を取り巻く環境は著しい変化をとげている。それはエンドユーザーである志願者の変化と言っても過言ではないだろう。情報化社会と言われ久しいが、

もはや識者が予測した速度を凌駕しており、その様な時代に育ち、日常的に接触している現在の若者にとってはごく普通の事であり、むしろその速度に戸惑っているのは受け入れ側である我々の方にすぎないのである。

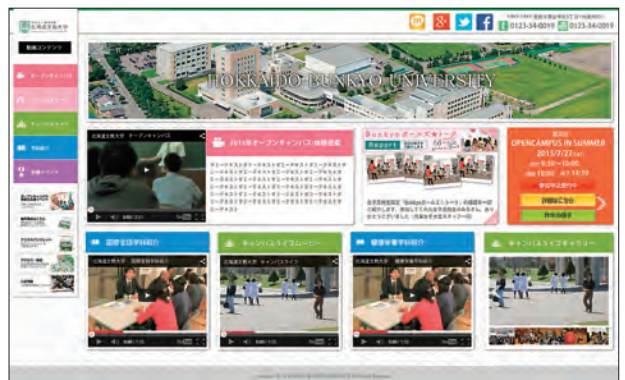
本学志願者の資料請求をみてみると、本学ホームページから直接資料請求する割合は90%に迫る勢いである。しかし、その様な状況も微妙に変化している事に気づかされる。それは高校生のスマホ所有率の俄かな高まりである。ある情報関係者によれば、本年度の高校生のスマホ保有率は50%に近くとして居るが、現実的にはそれを遙かにしのぐ勢いであることが窺える。過日もキャンパス訪問にきたおよそ60名の高校生に「スマホを持っていない人」と質問したところ僅かに4名であった。この様なことからSNS環境にある高校生の割合は相当数に達するものと容易に推測される。

果たして本学の情報環境はその様な状況に対応しているであろうか、ある程度はネット環境を整備しているとは

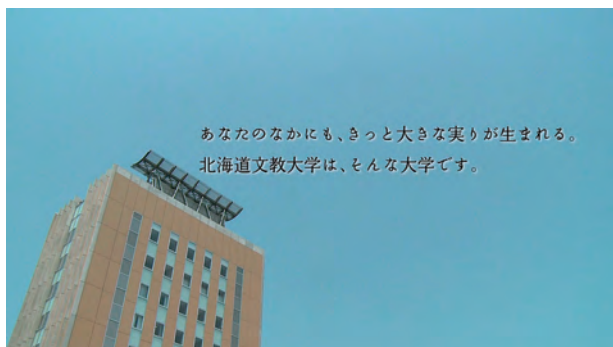
いえ、スマホ対応は不十分であると言わざるを得ない。しかし、手をこまねいては高校生との接触機会をみすみす逃すことになる。「考えるより動け」は我々、学生の受け入れを担当する者のモットーである。本学も入試主導でスマホ環境の整備、及びコンテンツの検討・整備を本年7月より開始するつもりである。目標はサクサクと活用環境の良い状況づくりであり、欲しい情報が直ぐに見つかる仕組みであり、新たなコンテンツとしての動画サイトの新設に他ならない。全学的に在校生のスマホ活用状況に資することも大事な課題ではあるが、機が熟すまで待てる余裕は許されないのである。その為には失敗を恐れてはならないのであり、関係各位のありがたい叱咤激励を期待するものである。この情報環境の整備をとおして望むものは、本学の『ブランド戦略への挑戦』に他ならないと位置づけている。



▲スマートフォンサイトトップ画面



▲動画サイトトップページ



▲動画サイトコンテンツ②



▲動画サイトコンテンツ①

※動画サイトの画面デザイン等は実際と異なる場合があります。

北海道文教大学後援会活動の執行指針について

北海道文教大学後援会会長 石山 武浩

会員の皆様には、日頃より後援会活動に対してご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

さて後援会は、建学の精神に則り、会員の皆様相互のご協力によって大学を後援し、その発展充実に寄与することを目的として、皆様からお預かりしている後援会費を原資として様々な事業活動を展開しております。個々の事業内容につきましては、後日、発行予定の後援会会報で報告させていただきますので、ここでは後援会活動の執行に関する考え方について記したいと思います。

はじめに昨年度より正会員のみで三役（会長・副会長・監査）を構成する組織にすることができました。毎年、執行体制づくりに苦慮していることから、後援会役員選出については、保護者の皆様に役員選出アンケート調査を実施させていただき、学年・学科のバランスも考慮し、適切に選出され成果を上げることができました。今後とも誰もが後援会に参加でき、より興味と関心を持っていただけるよう取り組んでまいりたいと思います。理事選出を終え、新年度の執行体制が整いました。

後援会の在り方としての基本スタンスは、いかに北海道文教大学生として

有意義なキャンパスライフを送っていただけるか、そのことを通して大学の発展・充実に寄与できるかということだと考えております。「文教大学に入ってよかった」、「安心して預けられる」、「周りや後輩達にも紹介したい」と誇りを持って言えるような環境づくりを、大学・学生・後援会が三位一体となって作り上げていきたいと考えております。夢のある将来像を掲げながら後援会活動を行っていきます。後援会事業の執行に関する業務は、できるだけ各理事に分担し、全員参加型の体制へ移行しながら積極的な提言を引出し、大学・学生と共に後援会組織の活性化を目指していきたくと思っています。

平成25年度の事業内容は、项目的には前年度と差異はあるませんが、一つ一つの事業の中身を吟味しながら、ワーキングや役員会で検討していきたくと考えております。

今後とも大学と学生と後援会が三位一体となって連携を密にしながら、きめ細かく連帯感を持ち、また会員の皆様の声を丁寧な吸い上げながら後援会活動を進めてまいりたいと思います。これからも積極的にご参加、ご意見、ご理解、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

人事

◎退職[平成25.3.31付]

事務局

浅見晴江(事務局長)
岩野久美子(学務部図書課係員)
大島智恵子(総務部管財課清掃員)
大友伸一(学務部学生課主幹)
片桐敬明(総務部企画課長)
嶋崎昭男(就職部就職課主幹)
富塚陽子(学務部図書課係員)
瀬能均(高校事務長)

北海道文教大学外国語学部

鎌田清子(国際言語学科教授)
久野寛之(国際言語学科教授)
高橋順一(国際言語学科教授)
菅原良(国際言語学科准教授)
新田隆(日本語コミュニケーション学科准教授(併)入試広報部長)

北海道文教大学人間科学部

賀来亨(健康栄養学科教授)
近藤文衛(健康栄養学科教授)
佐藤節子(健康栄養学科教授)
澤田幸治(健康栄養学科教授)
宮下洋子(健康栄養学科教授)
片村早花(健康栄養学科助手)
佐藤理紗子(健康栄養学科助手)
飯田紀子(理学療法学科教授)
宮本重範(理学療法学科教授)
松本博之(理学療法学科教授)
井上由紀子(看護学科教授)
佐々木聖子(看護学科教授)
矢嶋俊彦(看護学科教授)
立石和子(看護学科准教授)

長多好恵(看護学科准教授)
原谷珠美(看護学科准教授)
松尾良子(看護学科講師)
片倉裕子(看護学科助教)
大滝まり子(こども発達学科教授)
竹内奈生美
(管理栄養士国家試験対策室事務員)

北海道文教大学明清高等学校

石井球方(教諭)
柴田詠子(教諭)
泊出秀雄(教諭)
鈴木亜子(助教諭)

◎採用[平成25.4.1付発令]

事務局

間口辰博(総務部企画課主幹(総務課兼務))
尾山由季乃(財務部会計課係員)
佐々木尚美(財務部管理課清掃員)
中村知暉(学務部教務課課員)
匹田奈美(学務部学生課係員)
山田泉(学務部図書課係員)
八谷一明(就職部就職課主幹)

北海道文教大学外国語学部

佐藤進(国際言語学科教授)
澤田隆(国際言語学科教授)
福井雅英(国際言語学科教授)

北海道文教大学人間科学部

佐藤薫(健康栄養学科教授)
千葉秋奈(健康栄養学科助手)
山下知紗(健康栄養学科助手)
木村一志(理学療法学科教授)
齋藤正美(理学療法学科教授)
山本澄子(看護学科教授)
木村眞子(看護学科准教授)
武田春美(看護学科准教授)(5/1付)

續佳代(看護学科准教授)
合田悟(看護学科講師)
井上仁美(看護学科講師)
高儀郁美(看護学科講師)
矢野芳美(看護学科講師)
中田真依(看護学科助教)
山本由美子(看護学科助教)(5/1付)
寺坂直見(看護学科助手)(4/15付)
坂本明菜
(管理栄養士国家試験対策室事務員)

北海道文教大学明清高等学校

大下美紀(教諭)
堀川哲(教諭)
三浦聡子(助教諭)

北海道文教大学附属幼稚園

長岡まな美(事務員)

◎昇任

事務局

栗原智(総務部企画課長(総務課兼務))
塚田京子(総務部総務課係長)
宮崎里枝(学務部教務課課長補佐)
立谷整(学務部学生課課長補佐(教務課兼務))
菅原恭子(学務部図書課課長補佐)
佐々木夕夏(学務部図書課係長)
田中留美子(入試広報部入試広報課係長)

北海道文教大学人間科学部

峯尾仁(健康栄養学科教授)
坂本恵(健康栄養学科准教授)
木藤さ子(健康栄養学科准教授)
大森森(理学療法学科教授)
横井裕一郎(理学療法学科教授)
白幡知尋(理学療法学科准教授)
西村由香(理学療法学科准教授)
大川浩子(作業療法学科准教授)

◎再雇用

事務局

浅見晴江(事務局長(併)学務部長)
新田隆(入試広報部長(併)入試広報課長)

北海道文教大学外国語学部

鎌田清子(国際言語学科教授)

北海道文教大学人間科学部

大滝まり子(こども発達学科教授)

◎異動

事務局

武井正信(就職部就職課課員)
石丸朝生(高等学校事務)

北海道文教大学外国語学部

海老子格行(国際言語学科教授)
黒坂満輝(国際言語学科教授)
永原和夫(国際言語学科教授)

北海道文教大学人間科学部

木村浩一(健康栄養学科教授)

◎併任

北海道文教大学

三上勝夫(鶴岡記念図書館長)
黒坂満輝(グローバルコミュニケーション研究科長)
佐藤進(外国語学部長)
橋内勇(人間科学部長)
澤田隆(外国語学部国際言語学科長)
大山徹(人間科学部健康栄養学科長)
松岡審爾(人間科学部理学療法学科長)
坪田貞子(人間科学部作業療法学科長)
小畑ゆかり(人間科学部看護学科長)
佐藤信雄(人間科学部こども発達学科長)

I 法人の概要

(A)設置する学校・学部・学科等の入学定員・学生生徒数の状況
(平成24年5月1日現在)

学校・学部・学科等		入学定員	現員	
大学院	グローバルコミュニケーション研究科 言語文化コミュニケーション専攻	5	16	
大学	外国語学部	国際言語学科	100	313
		英米語コミュニケーション学科	募集停止	35
		中国語コミュニケーション学科	募集停止	18
		日本語コミュニケーション学科	募集停止	65
	小計		100	431
	人間科学部	健康栄養学科	150	641
		理学療法学科	80	407
		作業療法学科	40	199
		看護学科	80	386
		こども発達学科	80	260
小計		430	1,893	
大学合計		530	2,324	
高等学校	普通科	120	199	
	食物科	40	78	
	合計	160	277	
幼稚園(3・4・5歳児)		80(総定員)	78	
学園合計		775 (幼稚園定員含)	2,695	

(B)役員・教職員の概要(平成25年5月1日現在)

- 1)理事の定員:6人以上8人以内 現員7人
理事長:鈴木武夫
理事:北崎由子、浅見晴江、荻根澤剛文、近藤文衛、水上寛
- 2)監事の定員:2人 現員2人
浅川修二、鈴木豊
- 3)評議員の定員:13人以上17人以内 現員16人
神谷 忠孝ほか15人

(C)教職員数(平成25年5月1日現在)

区分	専任				非常勤			
	大学	高校	幼稚園	計	大学	高校	幼稚園	計
教員	123	26	8	155	110	10	1	121
職員	48	2	2	52	18	0	0	18

(D)施設・設備等の概要(平成25年5月1日現在)(学校法人基礎調査抜粋)

校地194,721㎡、校舎52,138㎡、図書169,871冊

II 事業の概要

(A)事業の概要・計画及び進捗状況

平成24年度予算編成方針に基づき、次の事項を実施した。

1.教育研究体制について

北海道の私学は少子化の進行に伴い、大学の運営は益々厳しさを増している。特に実学重視の特色ある教育の基本方針を踏襲している本学は教学組織の拡充と大学教育の質の向上のために、自己点検評価で具体的な改善、改革の試み活性化に努めた。FD取り組みと共同研究事業の継続と研修会、講演会並びに各種の自治体の審議委員等地域社会貢献を積極的に対応し高い評価を受けている。大学評価において平成19年4月1日に(財)大学基準協会の加盟判定で4年の認定期間で適合とされ、文部科学省の認証評価を得た。平成22年度に大学評価を受審し、平成23年度から7年の認定期間で基準に適合していると承認された。今後は5年後に備え、継続して学科内で大学の基礎データを調査・集計及び自己点検・評価を推進する。また、大学院の拡充整備について検討を開始した。

2.財政確保について

(1)北海道文教大学・大学院

大学2学部6学科大学院1専攻の小規模かつ、大学設置14年目である。北海道の私学の厳しい環境の中で定員以上の学生確保が出来た。子ども発達学科が開設3年目の学年進行中であるため、収入・支出とも増加の傾向にある。法人に占める大学の財政割合は8割を超えているため、固定費である人件費率を見据えつつ、財政基盤を強固にするための諸策を講じた。

(2)北海道文教大学明清高等学校

北海道の私立高等学校は引き続き定員受足率が低下している中で本校も平成23年度に入学定員を削減(普通科160名から120名、食物科50名から40名)してコース制を導入後2年経過した。しかし、入学定員の充足率の向上には繋がらなかった。従って、高等学校部門の財政収支は学生確保と支出削減の両面の更なる努力が必要な現状である。

(3)北海道文教大学附属幼稚園

幼児保育教育がある程度実績をあげて収容定員80名近くを確保できる体制がと整い、教諭の研修会を実施した。特別な取組としてランニング等の活動が効果を挙げてきた。更に補助金の増額もあり収支係数は向上した。

一方、認定こども園化への対応など施設面等の検討を開始した。

3.財務支出について

(1)人件費全般

大学の子ども発達学科が完成年度を1年後に控え、教員の充実と、事務の効率化による職員補充の抑制によって人件費比率は50%を大きく下回った。教育研究条件等の拡充のために教育職員の増員計画を確定した。また、退職給与引当特定資産を年次計画で設定した。

(2)一般経費の予算・執行

本学園の一般経費予算は、個別積み上げ方式による部門別予算要求によって編成されている。予算要求書には、予算の効果的内容であることを求め期待される効果を記載し、予算のヒアリングの際、費用対効果を検証して予算原案が作成される。学園創立70周年記念式典を挙行政した。特に、単科大学としてスタートした本学の外国語学部は、国際教育関連並びに留学生予算に重点を置き、人間科学部は、実験実習予算や試験対策関連予算を重点に予算が編成されている。また、教室等の施設設備の一部変更などを実施して教育環境改善に努力した。

(3)特別企画事業

事業名	事業内容	実施期間	事業費(円)	備考
学校法人鶴岡学園創立70周年記念行事	記念式典・記念祝賀会・記念誌の発行	平成24年6月8日(金)	40,216,753	学園本館大講堂
恵庭キャンパス環境整備事業	正門スペース(93m)の塀の設置	継続事業	25,000,000	
札幌キャンパス環境整備事業	第1学生寮の解体及びキャンパス整備に伴う施設整備	平成23年度から平成24年度の2力年計画で実施	33,274,080	旧短大寮・校舎解体工事費・校内道路整備費・災害設備更新費・電気設備改修費
幼稚園整備事業	給水管の更新費		2,764,225	
合計			101,255,058	

(4)一般企画事業実施

事業名	事業内容	実施期間	事業費(円)	備考
大学図書館移設書架整備事業	移動書架増設関係	平成23年度から平成25年度の3カ年計画	4,777,500	免震移動棚
大学の教育環境整備費	1号館実験室設備更新費		8,512,875	
	2号館221教室整備費		4,441,500	
	5号館2階・3階・教室、実習室の空調工事費		8,491,350	
	体育館前歩道舗装工事		2,730,000	
	図書館、学生駐車場の街灯設置		1,890,000	
	省エネ対応工事		1,449,000	
	給水設備改修工事		4,651,500	
合計			36,943,725	

(5)第2号基本金並びに特定資産の追加設定

- ①大学の教育研究環境の改善を図るため研究棟の建設を計画し2億5千万円基本金組入した。
- ②校地取得のための資金として当期は6千万円基本金組入した。
- ③退職給与特定資産の繰入を当期は5千万円を積立した。

(6)学生の就学支援に係る奨学金並びに学費の減免制度に関する改善を図った。

(7)財務比率のうち流動比率を高めることにした。

(B)各部署の主な実施事業

1. 法人・事務局

- (1)学生確保、就職支援及び学生支援に関する事業
- (2)文教大学の父母懇談会・文教広報第28号を発行した。
- (3)業務の効率化と職員研修事業を推進した。
- (4)鶴岡学園諸規程の制定及び改正を次の通り実施した。

(諸規程の制定)

法人

- ①学校法人鶴岡学園安全衛生管理規程
- ②学校法人鶴岡学園嘱託職員就業規則
- ③学校法人鶴岡学園臨時職員就業規則
- ④学校法人鶴岡学園特別嘱託職員就業規則
- ⑤北海道文教大学海外入学者選抜規程

高校

- ①北海道文教大学明清高等学校特待生規程

(諸規程の一部改正)

法人

- ①学校法人鶴岡学園寄附行為
- ②学校法人鶴岡学園寄附行為細則
- ③学校法人鶴岡学園退職金規定
- ④学校法人鶴岡学園組織規程
- ⑤学校法人鶴岡学園事務分掌規程
- ⑥学校法人鶴岡学園職員給与規程
- ⑦学校法人鶴岡学園就業規則
- ⑧学校法人鶴岡学園旅費規程
- ⑨学校法人鶴岡学園契約規程
- ⑩学校法人鶴岡学園物品等管理規程
- ⑪学校法人鶴岡学園防災規程
- ⑫学校法人鶴岡学園非常勤講師に関する規程

大学

- ①北海道文教大学学則

- ②北海道文教大学及び大学院教育職員任用規程
- ③北海道文教大学助教及び助手の任用規程
- ④北海道文教大学及び大学院学の納付金・学資免除に関する申し合わせ
- ⑤北海道文教大学入学科減免に関する申し合わせ
- ⑥北海道文教大学学生納付金等に関する細則
- ⑦北海道文教大学研究費の重点配分に関する申し合わせ

高校

- ①北海道文教大学明清高等学校学則
- ②北海道文教大学明清高等学校納付金
- ③北海道文教大学明清高等学校の授業料軽減実施規程
- ④北海道文教大学明清高等学校の授業料軽減特例措置実施規程

幼稚園

- ①北海道文教大学附属幼稚園園則(諸納金)

2.大学

(1)自己点検・評価について

北海道文教大学及び大学院は平成22年度に第2回認証評価を受け、大学基準協会の大学基準に適合しているものと認められ、平成23年4月より平成30年3月末日までの期間とされた。教育開発センターは平成24年度の大学評価委員会と連携して、自己点検評価報告書を作成した。FD取り組みと共同研究を推進した。

(2)大学院研究科

平成24年度はカリキュラムの見直しについて専門委員会を実施の具体的検討を重ねている段階である。また、平成24年度の大学院の修了者は、6名(24年9月3名、平成25年3月3名)であった。更に、人間科学部の大学院設置について、理事長より教授会等において学生数が確保されているという条件付きで専攻科等を増設の発表があり承認された。

(3)国試対策の拡充について

特に管理栄養士の国家試験対策室を設置により、合格者数・合格率を向上させるため学科全体で取り組む体制を構築した。

(4)子育て教育地域支援センター(通称:文教ペンギンルーム)

活動を拡充した。
地域の乳幼児をもつ親や子ども同士の交流の場として、また、将来、こどもの教育にたずさわりたいと考えている本学科学生の実習や研修の拠点として、2010年に設置した。スタッフは、子育て支援・教育臨床活動を担う専門家を中心に、こども発達学科をはじめ人間科学部全学科の教員が参画している。子育てに関する調査研究を深め、その成果を教育の充実し、子育て教育地域支援に大いに役立っている。

(5)公開講座・社会貢献活動について

- (1)大学主催の公開講座「コトバの魅力」講座(国際言語学科)
- (2)恵庭市主催の公開講座に講師等を派遣協力する。
- (3)審議委員、審査委員等の活動
- (4)講演・会議等の活動
- (5)「子育て教育地域支援センター(文教ペンギンルーム)」による恵庭・札幌

(6)海外提携校・国際交流について

海外の大学との学術に関する協定校は次のとおりである。海外協定校等交流促進センターの設置及び留学生海外拠点事務所を3カ所に設け中国に教員を派遣して留学生の確保に努めた。

提携大学名	国名	提携大学名	国名
吉林財經大學	中国	サザン・クロス大学	オーストラリア
広東外語外易大学 南国商学院		サハリ国立大学	ロシア
広東白雲学院		静宣大学	台湾
西安外語大学 東方語言文化学院		湖南大学	韓国
湖南大学			
湖南師範大学			
南国商学院			

(7) 就職活動および進学について

学科、就職支援委員会、担任、アドバイザー、就職課の連携による就職意識の向上、学生に対する就職情報の提示、病院等の就職説明に対する面談、就職課との連携による求人先訪問、総合的指導、就職講座を実施により、極めて高い就職率を維持している。

また、大学院進学希望者等に対する指導も実施し、希望の大学院進学であった。

(8) 平成25年度以降に向けての当面の課題を確認した。

- ① 平成25年度の最重要課題として国家試験対策を一層充実して効果を挙げる。
- ② 学園創立80周年記念に向けての財務中期計画を策定する。

3. 北海道文教大学明清高等学校

設立54年目にして校舎移転という転機を迎え、今後3年間で「実力進学校」に脱皮することを目指して、生徒と教職員全体のモチベーションを一層高めて情熱的な学校作りに取り組んだ。学園創設以来の実学教育の伝統に立脚して、キャリアプログラム教育に取り組んできた。新指導要領の移行実施を踏まえ一層の充実発展と教育内容の向上を組織的に推進した。

4. 北海道文教大学附属幼稚園

教員配置が充実できたことにより、保育にゆとりが生まれ、保育の見直しにも取り組むことができた。これまでの保育基盤作りを基に保育内容や組織充実させる努力した。保育概要は次のとおりである。また、幼稚園の認定保育園化が政府の方針として示されており、新年度以降、早期に、幼稚園としての方針に合わせた園舎改築等が検討課題である。

Ⅲ 財務の概要

平成24年度の財務概況報告

(1) 資金収支計算書(法人総括)

(単位：千円)

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	2,937,396	2,941,591	△ 4,195
手数料収入	59,562	59,679	△ 117
寄付金収入	1,100	1,100	0
補助金収入	392,582	395,269	△ 2,687
資産運用収入	4,814	5,151	△ 337
資産売却収入	0	960	△ 960
事業収入	5,032	5,247	△ 215
雑収入	95,861	96,656	△ 795
前受金収入	610,821	641,088	△ 30,267
その他の収入	102,581	103,402	△ 821
資金収入調整勘定	△ 707,716	△ 725,101	17,385
当年度収入合計	3,502,033	3,525,042	△ 23,009
前年度繰越支払資金	3,394,797	3,394,797	0
収入の部合計	6,896,830	6,919,839	△ 23,009

(単位：千円)

支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	1,541,386	1,563,095	△ 21,709
教育研究経費支出	665,594	693,857	△ 28,263
管理経費支出	288,141	287,976	165
施設関係支出	58,152	61,296	△ 3,144
設備関係支出	73,465	74,168	△ 703
資産運用支出	360,000	360,000	0
その他の支出	146,350	149,944	△ 3,594
予備費	(30,000)		0
資金支出調整勘定	△ 35,782	△ 110,989	75,207
当年度資金支出合計	3,097,306	3,079,347	17,959
次年度繰越支払資金	3,799,524	3,840,492	△ 40,968
支出の部合計	6,896,830	6,919,839	△ 23,009

資金収支計算書の概要

平成24年度決算における収入の部では、学生生徒等納付金収入29億4,159万1千円、補助金収入3億5,526万9千円、前受金収入6億4,108万8千円などがあり、これに前年度から繰越した支払資金33億9,479万7千円を加え、収入の部合計は96億1,983万9千円となりました。

支出の部では、人件費支出15億6,309万5千円、教育研究経費支出6億9,385万7千円、資産運用支出(第2号基本金積立)3億6,000万円などの支出により、合計30億7,934万7千円となり、平成24年度の支払資金として38億4,049万2千円を繰り越すこととなりました。

(2) 消費収支計算書(法人総括)

(単位：千円)

消費収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	2,937,396	2,941,591	△ 4,195
手数料	59,562	59,679	△ 117
寄付金	9,250	9,646	△ 396
補助金	392,582	395,269	△ 2,687
資産運用収入	4,814	5,151	△ 337
資産売却差額	0	960	△ 960
事業収入	5,032	5,247	△ 215
雑収入	95,861	96,656	△ 795
帰属収入合計	3,504,497	3,514,199	△ 9,702
基本金組入額合計	△ 434,007	△ 348,655	△ 85,352
消費収入の部合計	3,070,490	3,165,544	△ 95,054

(単位：千円)

消費支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費	1,606,587	1,568,216	38,371
(退職給与引当繰入額)	(65,200)	101,159	△ 35,959
教育研究経費	929,101	974,438	△ 45,337
(内減価償却額)	(263,507)	276,738	△ 13,231
管理経費	327,275	328,761	△ 1,486
(内減価償却額)	(39,134)	40,949	△ 1,815
資産処分差額	5,000	10,828	△ 5,828
徴収不能額	0	0	0
徴収不能引当金繰入額	4,000	4,268	△ 268
予備費	(30,000)		0
消費支出の部合計	2,871,963	2,886,511	△ 14,548

(単位：千円)

消費収支差額			
科目	予算	決算	差異
帰属収支差額	632,534	627,688	4,846
当年度消費収入超過額	198,527	279,033	
前年度繰越消費支出超過額	1,405,120	1,405,120	
基本金取崩額	0	19,263	△ 19,263
翌年度繰越消費支出超過額	1,206,593	1,106,824	

消費収支決算の概要

平成24年度決算における帰属収支差額は6億2,768万8千円となり、帰属収支差額比率は17.6%となりました。また、帰属収支の均衡状態を示す当年度消費収入超過額は、消費収入の部31億6,554万4千円と消費支出の部28億8,651万1千円の差額で表され、2億7,903万3千円の収入超過となりました。

(3) 貸借対照表の概要

(単位：千円)

資産の部			
科目	平成24年度末	平成23年度末	増減
固定資産	7,929,883	7,757,509	172,374
有形固定資産	6,612,108	6,793,586	△ 181,478
その他の固定資産	1,317,775	963,923	353,852
流動資産	3,925,948	3,500,681	425,267
合計	11,855,831	11,258,190	597,641

(単位：千円)

科目	平成24年度末	平成23年度末	増減
正味財産	10,649,676	10,021,988	627,688
(正味財産 = 資産 - 負債)			

(単位：千円)

科目	平成24年度末	平成23年度末	増減
減価償却額の累計額の合計額	4,529,729	4,342,702	187,027
基本金未組入額	40,085	49,635	△ 9,550

(単位：千円)

負債の部、基本金の部、消費収支差額の部			
科目	平成24年度末	平成23年度末	増減
固定負債	416,686	420,491	△ 3,805
流動負債	789,469	815,711	△ 26,242
負債計	1,206,155	1,236,202	△ 30,047
基本金	11,756,500	11,427,107	329,393
消費収支差額	△ 1,106,824	△ 1,405,119	298,295
合計	11,855,831	11,258,190	597,641

貸借対照表の概要

平成24年度の資産の部合計は118億5,558万1千円、負債の部合計は12億615万5千円、資産から負債を差し引いた正味財産は106億4,967万6千円となり、前年度と比較して6億2,768万8千円の純増となりました。

財産目録 平成25年3月31日

【学校法人鶴岡学園】

(単位：千円)

I. 資産総額	11,855,831
内、基本財産	6,639,046
運用財産	5,216,785
収益事業用財産	0
II. 負債総額	1,206,155
III. 正味財産	10,649,676

区分	金額
資産の部	
1. 基本財産	6,639,046
土地	194,720.85 ㎡
建物	52,274.26 ㎡
図書	199,454 冊
教具・器具・備品	10,458 点
その他	
2. 運用財産	5,216,785
現金預金	3,840,492
その他	1,376,293
3. 収益事業用財産	0
資産総額	11,855,831

区分	金額
負債の部	
1. 固定負債	416,686
長期借入金	0
その他	416,686
2. 流動負債	789,470
短期借入金	0
その他	789,470
負債総額	1,206,155
正味財産(資産総額－負債総額)	10,649,676

監事監査報告書

平成25年5月28日

学校法人鶴岡学園
理事長 鈴木 武夫 殿

学校法人鶴岡学園
監事 浅川 修二
監事 鈴木 豊

私たちは、私立学校法第37条第3項及び学校法人鶴岡学園寄附行為第16条の規定に基づき、学校法人鶴岡学園の平成24年度(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)における財産目録及び計算書類(資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表及び附属明細表)を含め、学校法人の業務及び財産の状況について監査を行なった。

私たちは、監査に当たり理事会及び評議員会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するとともに、有限責任あずさ監査法人から、私立学校振興助成法に基づく監査の状況について説明を聴取するなど、本学校法人の業務及び財産の状況について意見を述べるにあたり、必要と認められた監査手続を実施した。

監査の結果、学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、財産目録及び計算書類は会計帳簿の記載金額と一致し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認める。

OPEN CAMPUS 2013

君が来るのを
待っています。



第2回 7/27(土) 11:00~15:30
OPEN CAMPUS in SUMMER

内容 学科紹介、体験講義、実習体験、
キャンパスツアー、学食体験 他

第3回 9/21(土) 10:00~14:30
OPEN CAMPUS in AUTUMN

内容 先輩とフリートーク、学科紹介、
体験講義、実習体験 他
①7月と9月に「保護者説明会」
同時開催

春休み 2014 3/26(水) 10:00~14:00
OPEN CAMPUS in SPRING
高校1・2年生対象

内容 体験講義、実習体験、キャンパスツ
アー、先生や先輩との交流

【体験講義・実習体験テーマ】

学科	7/27(土)	9/21(土)	2014年3/26(水)
国際言語学科	Learning English Thru Drama	日本語はどこから来たか?	Checking in at Airports and Hotels
健康栄養学科	食物アレルギーA to Z	ボツリヌス菌毒素について	知っているようで知らない栄養士・管理栄養士の仕事
理学療法学科	脳はいかにしてできあがるのか	反射って何だろう?	運動の記憶とは? ~脳の中を探る~
作業療法学科	作業療法の多様性~手首の骨折に対する作業療法~	作業療法の多様性~精神科領域の専門性とは~	作業療法の多様性~作業とは 作業のとうえ方~
看護学科	しのびよる感染症から身を護る	高齢者を知らう!	食中毒の予防
こども発達学科	絵本「はらぺこあおむし」で遊ぼう!	音楽でコラボレーションしてみよう!	世界一!?受けてみたい授業&遊びのカラクリ ~こども発達学科で身につく先生のワザ、一挙大公開!~

オープンキャンパスレポート!! 6/22(土)に開催された第1回目のオープンキャンパスの様子の一部をご紹介します。



▲学食体験では先生や先輩と一緒にランチです。



▲理学療法学科の「先輩から学ぶ!実習体験」でリハビリ技術を学びました。



▲看護学科の講義「心の発達と対人関係」で大学生を体験しました。



▲相談コーナーでは、入試、就職、学生生活、授業について個別にお答えします。



▲こども発達学科では、先輩のエスコートでキャンパスツアーに!



▲看護学科の実習体験では、老人の身体を体験しました。手袋をして折り紙を折ってみましたが、うまく折れませんでした。

アンケートに答えていただきました。

高校3年生「一人で参加したので緊張していましたが、先生や学生が優しく接してくれたので、うれしかったです。皆さん明るい雰囲気や大学のイメージがとても良かったです。先生と学生の仲が良いのも印象的でした。」

高校2年生「初めて参加しましたが、オープンキャンパスがこんなに充実しているとは思いませんでした。先輩たちが作ってくれた給食(健康栄養学科)もとても美味しく、自分も入学したらこんな風に作れるのかも!と考えたらワクワクします。」

高校3年生「先輩からたくさん話が聞けたり、体験講義を受けられたりとても楽しかったです。色々な大学のオープンキャンパスに参加しましたが、どの大学よりも「こんな先輩たちになりたい!」と思える大学でした。」

保護者「2回目の参加ですが、参加するたびにこの大学でこどもを学ばせたいという気持ちが強くなります。」

保護者「他大学のオープンキャンパスとは違い、学科別のツアー型だったので保護者も気持ちよく参加できました。オープンキャンパスに参加したからこそ聞ける情報も入っていて参加して良かったです。」

保護者「キャンパスがキレイ!学生さんの挨拶や雰囲気がとても良い!皆さん感じが良くて、とても可愛かったです。親がオープンキャンパスに参加するのはどうかな...?と思っていたのですが、一緒に来て本当に良かったです。」

保護者「何校かのオープンキャンパスに参加させて頂いておりますが、貴校は就職のサポートが充実しているように思いました。親としてはとても安心できる要素です。」

『受験生応援プログラム』

推薦入試直前講座with大学祭

10/12(土) 10:00~12:30 夢を叶えるヒントを見つけに行こう!
~面接・小論文対策~

文教模試2013

10/19(土) 10:00~13:30 文教大の攻略法を見つけよう!
~国際言語学科主催~
(サクセス国語・サクセス英語)

2013年(平成25年度)進学相談会・校内ガイダンス日程[8月~10月分]

月	日	曜日	時間	地区	会場
8	22	木	13:30~18:00	旭川	ロワジールホテル旭川
	23	金	15:00~18:00	札幌	札幌パークホテル
	26	月	15:00~18:00	釧路	釧路市観光国際交流センター
	27	火	15:00~18:00	帯広	ホテル日航ノースランド帯広
	28	水	13:15~15:15	岩見沢	岩見沢西高校
			15:00~18:00	北見	ベルクラシック北見
29	木	10:10~14:30	帯広	帯広三条高校	
		15:00~18:00	旭川	ロワジールホテル旭川	
9	2	月	15:30~18:30	青森	青森国際ホテル
	3	火	15:30~18:30	八戸	八戸プラザアーバンホール
	4	水	15:30~18:30	盛岡	ホテルメトロポリタン盛岡本館
	5	木	15:30~18:30	秋田	アルヴェ
	9	月	15:00~18:30	仙台	ホテルメトロポリタン仙台
	10	火	15:30~18:30	山形	ホテルメトロポリタン山形
			15:00~18:00	苫小牧	グランドホテルニュー王子

月	日	曜日	時間	地区	会場
9	11	水	15:00~18:00	室蘭	蓬棘殿
	12	木	15:00~18:00	函館	ベルクラシック函館
	17	火	15:00~18:00	小樽	グランドパーク小樽
			未定	網走	網走総合体育館(網走南ヶ丘高校)
	18	水	15:00~18:00	新札幌	シェラトンホテル札幌
未定			札幌	北星学園大学付属高校	
10	4	金	15:30~18:30	函館	ベルクラシック函館
	8	火	15:30~18:30	旭川	ロワジールホテル旭川
	9	水	15:30~18:30	北見	ベルクラシック北見
	10	木	15:30~18:30	釧路	釧路キャッスルホテル
	11	金	15:30~18:30	帯広	ホテル日航ノースランド帯広
	23	水	未定	白老	北海道栄高校
30	水	未定	札幌	札幌大谷高校	

※時間が未定の会場は、確定次第HPでお知らせします。